

法人（事業所）理念		コンシェルは、一人ひとりのお子さまの強みを活かし、ご本人様らしい自立を目指して、ご家族の皆様とともに同じ方向で計画していきます。学齢期、移行期、成人期のイメージができるように一人ひとりの特性や気づきを活かせる発達支援・療育を実践していきます。			
支援方針		ご本人さんの特性を軸に一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成します。アセスメントから始め、実証されている方法（視覚的構造化、応用行動分析、PECS等）を使うこと、一人ひとりの発達年齢に応じた自立を目的に、ご家族やチーム間との協働を重視していきます。			
営業時間		10 時 00 分から	19 時 00 分まで	送迎実施の有無	なし（基本、保護者送迎ですが、場合によってはご相談ください）
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日常生活における身辺自立「食事、排泄、衣服の着脱、入浴、身だしなみ、衛生、家事（手洗い）」地域生活における「規則、安全、日時の理解、お金の管理、外食等の基本的な生活スキルの獲得に向けた計画をします。			
	運動・感覚	日常生活の基礎となる「粗大運動」身体全体を使った大きな動きや、「微細運動」手や指先を使う細かい運動、また目や手の協調運動等、年齢に応じた遊びや活動を取り入れた計画をします。 また、感覚面をもたれるお子様には、自己調整自己防衛ができるように計画をします。			
	認知・行動	「自己認知支援」本人が自分の特性や気づき方（理解の仕方）を知っていることで自分で生活を調整する思考作りや、自分の行動、振る舞い方の気づきや、周囲の人の行動の気づき等、行動支援に向けての計画をします。診断告知に向けて、自己認知を進める気づきを高め、自分についての脳タイプを学びます。告知後も丁寧なフォローアップで自己肯定感を高めていきます。また、年齢に応じて空間、時間、数等の概念形成の習得を目指します。			
	言語コミュニケーション	ご本人さんがよく使う機能的なコミュニケーションから、一人ひとりの理解に合わせた形態（ツール）を使って自発的なコミュニケーションを積み上げます。また、社会性のあうお友だちとグルーピングを設定し、相互的なコミュニケーションスキルを高める計画をします。			
	人間関係社会性	社会性の支援として、ご本人さんの気づきを継続的にアセスメントしながら機会設定を繰り返し、「人や友だちへの気づき」「遊びの広がり」等を計画します。また、感情学習として、自分の感情や相手の状況や感情があることの気づき等の計画をします。			
家族支援	自閉症や発達障がいへの支援においてご家族との協働は欠かせないものです。ご本人、ご家族、スタッフそれぞれがともに学び合い、ご本人さんの目的を確認しながら丁寧に進めさせていただきます。	移行支援	進学、進級に向けて変化の苦手なお子様の特性にあわせて支援や手だてを整理していきます。		
地域支援・地域連携	1対1のセッションで基本を学び、例題や事例を通して般化を考えた計画をスモールステップで積み重ねていきます。お買い物や外食活動等、地域生活や余暇に繋がる計画をします。	職員の質の向上	コンシェルチームとして、一人ひとりのお子様にあった発達支援・療育が実践できるように応用行動分析やPECS等の研修を受けながら、支援指導を進めていきます。		
主な行事等	課外活動（買い物学習、外食活動等） 避難訓練（年2回） ハロウィン活動 クリスマス活動 福笑い 卒業式				